

**当院職員および入院患者さんの新型コロナウイルス感染症の発生について（第3報）**

2022年2月10日、2月14日、2月16日に、国立国際医療研究センター病院の同一病棟で、職員7名および入院患者さん10名、合計17名が、新型コロナウイルスに感染していたことが確認されていましたが、2月21日までに、当該病棟内で新たな新型コロナウイルス感染者は確認されませんでした。

**1. 診療体制について****■入院診療**

職員7名、入院患者さん10名、合計17名の新型コロナウイルス感染が確認された当該病棟については、新規入院および転入・転出を中止していましたが、2月22日から通常通りの運用としています。

当該病棟は消毒作業を実施済みです。

**■外来診療**

今般の新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い、1月19日から一部の診療を縮小しています。

**2. その他**

本件についてはすでに保健所に報告しており、保健所の指示のもとに対応しています。感染拡大防止に努めるとともに、職員全員に感染対策の周知徹底を図ってまいります。

**【当該病棟における新型コロナウイルス感染症発生の経過】**

- ・2月10日の感染確認について→[第1報](#)
- ・2月14日の感染確認について→[第2報](#)
- ・2月16日に新たに確認された感染について
  - 医師（病棟・外来業務；1名）
  - 患者さん（当該病棟に入院；1名）

**《経過》**

2月15日、16日の2日間に分けて、2月9日、10日のPCR検査で陰性が確認された、当該病棟に勤務する職員、および入院患者さんに対して、改めてPCR検査を実施しました。その結果、当該病棟に勤務する医師1名、入院患者さん1名の新型コロナウイルス感染が確認されました。

新型コロナウイルス感染が確認された上記の医師1名は、新型コロナウイルス感染症の対応にも従事していましたが、感染対策を徹底し、勤務していました。

当該医師は、上記の勤務とは異なる院外の感染経路による感染が考えられています。

当該患者さんは、第1報で感染が確認された入院患者さんと同室だったため、他の患者さんと

病室を分け、感染対策を十分に実施した上で、経過観察を行っていました。

上記の医師 1 名、入院患者さん 1 名が関係した施設・設備については、消毒作業を実施済みです。

《症状》

医師 1 名、入院患者さん 1 名の 2 名とも軽症です。

《現在の状況》

医師 1 名は自宅待機中。

入院患者さん 1 名については、当院の新型コロナウイルス感染症対応病棟に移動して治療中。

**◎患者さんからのお問い合わせ先（平日 9 時から 17 時まで）**

---

国立国際医療研究センター 総務課 総務係  
03-3202-7181（代表）

**◎報道関係からのお問い合わせ先（平日 9 時から 17 時まで）**

---

国立国際医療研究センター 広報企画室 広報係  
03-3202-7181（代表）  
press@hosp.ncgm.go.jp